

日産自動車合唱団のお知らせ(11月号)

あの「唱歌」の壁を必死でよじ登った経験をすれば この「MASS」はまだ組しやすく感じると思います。
それなら上手い演奏が出来る様になりましょう。ささやくようなmp、輝く様なff、心揺さぶる演奏を目指してみませんか

1.練習日程

- 11月13日(日)13:00~17:00 築地社会教育会館4F視聴覚室(音取用:4F 第4洋室)同上曲創り/合同曲確認
 11月27日(日)13:00~17:00 築地社会教育会館4F視聴覚室 「Mass」仕上げ及び合同曲曲創り
 12月 4日(日)13:00~17:00 築地社会教育会館4F 視聴覚室 クリスマス演奏曲総仕上げ
 12月18日(日)クリスマス演奏会 松伏田園ホールエローラ(時間詳細未定)

2.練習曲

日産自動車合唱団演奏曲:Steve Dobrogosz 作曲 「Mass」より Kyrie, Agnus Dei
 クリスマス合同演奏曲:(昨年と同じです)

コーロ HANA ♪ hana & エローラ少年少女合唱団: 赤鼻のトナカイ/サンタが町にやってくる/ジングルベル
 アプリス/エローラ混声/日産自動車合同:

- アルヤ(「Laudate Dominum」より) ②DingDong! Merr on High (D.ウィルコックス編)
 ③あめにはさかえ (R.ショウ編) ④African Noel (A.J.トーマス編) ⑤ホワイトクリスマス (I.バーリン作曲
 H. MacCarthy 編) ⑥あわてんぼうのサンタクロース (吉岡治詞 小林亜星曲 松永ちづる編)
 ⑦もろびとこぞりて (R.ワーグナー編) アンコール:「きよしこの夜(Hayden 編)
 お客様と一緒に「ジングル・ベル」の予定

3. 10/23日練習報告

1) ヴォイストレーニング(佐々木先生)

- ・ウォームアップ: 先ず身体を起こして今日の楽器(身体)の確認をしましょう。伸ばしてみたり曲げて見たり広げたり。
- ・aeでドレドレドレドレ/iでドレミドレミドレ
息を通すのが目標。高い位置から息を取り込んでその場所に戻す。自分の息を大きく外に向かって使いましょう
- ・i-e-aでドレドレドレドレドレドレ: 母音が変わっても別物にならない事。ひとつの息のサイクルの中で母音を変える。
- ・顔の体操: 頬骨をゆっくり上げて同じペースで下します。唇を前の方に押し出したり戻したりゆっくりと。
- ・Ya-yaiyaiyaでソファミソファミドレ: 上の前歯でYaを集めて身体の外で声にしましょう。
i母音を飲み込むとYaのaが押して聞こえます。i母音の先にYaを発しましょう。iとaは同じ響きです。
二人ペアで①お互いの口の中に声の響きをポンと流しましょう。②自分の口に入って来た響き・音程も聞きましょう。
一列に戻って全員の声を中央に集めます。そして集まった声をお互いに目で追っかけて聴きあいましょう。
- ・クールダウン: 指回しと手足の指の□運動。(手足交互のグーパー運動の対策案が密かに語られてました)え
- ・息を流す
i-e-aでドレミソファミドレミソファミドレ/Ya-i:ドレミソレドレドレソファミドレ: 息をたっぷり流しましょう。つんのめんらず。
母音を意識してコントロールしましょう。loでドレミソファミドレドレミソファミドレソファミドレ: スムーズに流すコントロール
- ・声を飛ばしましょう(応用編) 声の玉入れ、力任せに投げない。軽く目標地に向かって放物線を意識しましょう。
i-yahahaでドレミソファミドレ: 喉を詰めない。顎を出さない。お腹を使いましょう。

2) 本練習

目標:「Mass」の Agnus Dei の確認後、Agnus Dei/Kyrie 合わせ

1. 先ず「Mass」の Agnus Dei の音取 男声/女声に分かれて復習 14:05~15:00
(女声パート練習を記載します) Agnus Dei の i を押さない。/
kyrieの確認もしました。冒頭のソプラノの入りの食付きに難有で先生の合図を戴けることに。
P2の10小節目をハッキリする為の準備(前小節のeの処理、そこに至るまでの Count をシッカリ、テヌートを活かす歌い方)
P2の14小節目の Kyrie はアルトも(P6の65小節目)。
2. Agnus Dei の合わせ
私達の入る前ピアノはmfですが私達合唱の入りはmpです。mfで入るのは野暮です。ウルサイ 気をつけましょう。
15小節目の4/4の Agnus Dei はひとつのフレーズで歌う事。テンポ感で歌う。
P26の22小節目4声がそろった Pacem はよく聞き合わせる。音色や音質を同じに。
P26の23小節目は今までの音楽を引きずらないで改めて始まった様に。またテンポを取り戻す。
P28の51小節目からはテンポを戻して淡々とした感じに。そして段々小さくなる様計算コントロールしましょう。
その前のP28の48小節目「Donanobis」は相当揺らします/粘ります。特に男声は「ハイ2拍でPaね」と機械化しない。

3. Kyrie の合わせ

- リピートでもどった2回目の Kyrie が段々遅くなるのでリズム感も改めて立ち上げましょう
- P4の 41 小節男声のみで半音づつ上がっていく所。最初から飛ばすと悲惨な結果になるので **mp** から始めましょう。歌い方:最後まで son を拍通り伸ばしている。次の食付きが遅れるので短めに処理。(ただし前に転げないで)
- P4の 45 小節~次ページ 51 小節まで1つのフレーズと意識しましょう。
今は「KyrieChisteEleison」どっこいしょ、次「KyrieChisteEleison」どっこいしょ、次「KyrieChisteEleison」と聞こえる
- P5の50小節女声のみ「KyrieChisteEleison」ですが女声が汚いので男声も歌ってホロ隠し(コメンナサイヨ)
- P5の 53 小節ソプラノ:前小節の高い音の連続の後 低い音での Kyrie ですがここは未だ **ff**。気を抜かない

4. 「Mass」通し

- Kyrie と AgnusDei を通しました。先生「う〜ん ☆ # Δ ○ キ ? *」とおっしゃって、まっ今言ってもなあ」と次回練習に

4. 11/13日の練習予定

1) ヴォイストレーニング

佐々木先生のヴォイストレーニング。

「Mass」を歌うための技術練習です。また学ぶ点が沢山課題として見つかりましたね

- Kyrie の楽器の様な歌い方と AgnusDei のメロディを歌としての持って行き方
- 入りと納めの歌い方
- 同じ **ff** でも Kyrie と AgnusDei との差別化等 残る3回で吸収出来る事をできるだけ欲張っ教えてもらいましょう。

2) 本練習: 目標: 「Mass」の kyrie / AgnusDei の音楽造り。クリスマスキャロルの音取確認

① Kyrie と AgnusDei の音楽造り

- kyrie

今まで練習してきた事が出来る事。mpで歌える事。食付き。フレーズ取り。リピート後遅くなる癖 等のクリア
そして次の課題へ

- AgnusDei

mpで歌う所、mf、ffの違いを意識しましょう。全部力いっぱい AgnusDei ではなく大人の小洒落た AgnusDei に。
その為には自分と周りどきどきと役割を考えて、出る時は出る。時には声を出しやいってモンでもなさそー
特に P28 の 48 小節の造りを印象付ける事。 その印象付ける為のそれまでの音楽の造りを練習しましょう。

③ クリスマスキャロルの真面目な音取

5. その他

① 当日の「お弁当」の申込み受付

例年の通りエローラ合唱団の方がまとめて下さいます。500円。11/13日に申込みを受け付けます。

② 東京混声合唱団演奏会のお知らせ

12月16日(金)19:00~第一生命ホール 指揮:山田和樹 金額:4500円(佐々木先生2割引可)

演奏曲:

ホアキン・ロドリゴ「ロバを打って他」 ダリウス・ミョー「戦争のcantata」 大澤壽人「小ミサ」 モーリス・デュルフル「レクイエム」

③ クリスマスチャリティコンサート経費について(2)

現在各団の参加者申請が終わり全体参加者の集計。収入(10万)-経費予測(24万)/出演者=約2200円/人
日産自動車合唱団としては20名(他合唱団原籍者除く)として全体で22,000円のお支払いをします。

本経費は新たに徴収するのではなく本年度集めた団費の中から支払いたいと思います。

(最終的に16年度の団費が赤字になった場合は留保積立=埋蔵金で補てんしたいと考えます。)

尚、他合唱団に所属していて今回その合唱団メンバーとして約2200円の支払いをした日産自動車合唱団の方には丸めて800円(22000円/団費支払団員数26人)の返金をしたいと思います。

④ 来年の演奏曲(F合唱祭=6/24対応)

そろそろ上記楽譜をクリスマス演奏会後に印刷にかからないと1月の練習に間にあわない季節になりました。

今年は私達にとって結構難曲で「難しい曲はちょっと」と言う声が寄せられました。結果的には ensembleN にアップされた通り何とか間に合わせて練習のピークを持って来られた演奏になった訳です。

先生も「やりたい曲があるなら相談して持って来て」とは言われています。11月中旬に「選曲委員会」が設立されて討議の上12/4迄に相談案が出されれば先生と検討し12/18日に決定したいと考えます。

11月中旬に「選曲委員会」が成立しない場合は従来通り中脇先生に選曲をお任せしたいと思います。